

# 創立70周年記念祝賀会

## 神奈川 養鶏連

安全・安心・良質な田原市養鶏農協、神奈川『ヨウケイレン』のヒヨコ県種鶏農協、西湘養鶏農協、鎌倉家畜農協、愛甲『ヨウケイレン』を鶏卵生産者に供給している神奈川県養鶏経済農業協同組合連合会。よって昭和27年に設立された。現在の会員は、神奈川養鶏連、略称・神奈川養鶏連、本部・横浜市磯子区、千代田事務所・茨城県かすが市(茨城県かすが市)は、昭和27年に発足して70年が経過したことが、11月15日に横浜市港北区の新横浜プリンスホテルで創立70周年記念祝賀会を開き、取引先や行政・畜産団体、役員・O Bら約80人が出席した。

神奈川養鶏連は、養鶏経営の基盤となる初生ひなの生産供給事業を目的に、横浜市養鶏農協、小田原市養鶏農協、神奈川養鶏農協、西湘養鶏農協、鎌倉家畜農協、愛甲養鶏農協の6専門農協に よって昭和27年に設立された。現在の会員は、神奈川養鶏連、略称・神奈川養鶏連、本部・横浜市磯子区、千代田事務所・茨城県かすが市(茨城県かすが市)は、昭和27年に発足して70年が経過したことが、11月15日に横浜市港北区の新横浜プリンスホテルで創立70周年記念祝賀会を開き、取引先や行政・畜産団体、役員・O Bら約80人が出席した。

# 自分たちのひなは自分たちで生産する理念を貫く

小松賢常務理事は、横濱市の六角橋に開設した養鶏場の火災による焼失を痛感した。今、養鶏連の歴史を継承する者として忘れてはならないことだと痛感した。今、養鶏連の歴史を継承する者として忘れてはならないことだと痛感した。今、養鶏連の歴史を継承する者として忘れてはならないことだと痛感した。

志澤会長は「良質で安全・安心なひなは自分たちで生産する」という理念を貫き、60%に持つという設立理念を70年間継続してきたことに対し、同じ養鶏の後をついて行く畜産人として敬服する。志澤会長は「良質で安全・安心なひなは自分たちで生産する」という理念を貫き、60%に持つという設立理念を70年間継続してきたことに対し、同じ養鶏の後をついて行く畜産人として敬服する。

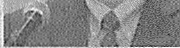
平本会長は「養鶏連は70年同じ思いを共有する」と語り、幾多の厳しい状況下にあることも、畜産業界に様々な人がいる中で、なか養鶏も頑張るとともに、育つた生産者が要望する良質で生産性の高いひなを安定的に供給し続け、その供給体制が神奈川県の養鶏業の発展に果たした役割を高く評価した。



鈴木光雄会長



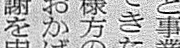
小菅知之氏



平本光男氏



志澤勝氏



齋藤拓社長



齋藤富士雄5代会長



古今亭志ん輔さんの落語も披露された創立70周年記念祝賀会

ある齋藤虎松の著書を先目読み直し、養鶏連の創立当時の志の中で2つのことに改めて心を打たれた。1つ目は自ら種を運び、ヒヨコを生産する仕組みを作りたい。2つ目は養鶏家による養鶏家のための事業でありたい。この2つは70年経った現在でも全く色褪せていないと感じた。養鶏連の一員であることを誇りに思うと同時に、道を切り開いてくれた先輩方、70年間事業を支えてくれた多くの人に感謝する」と述べて乾杯し、なごやかに歓談した。

鈴木会長あいさつ要旨  
養鶏連は昭和27年に「自分たちのひなは自分たちで生産する」という趣旨で設立された。爾来70年にわたり連綿と事業を続けることができたのは、ひとえに皆様方の絶大な御力添えのおかげであり、心より感謝を申し上げます。本会では昨年より、

この間、(株)横浜ファームの笠原節夫相談役がスピーチしたほか、齋藤富士雄5代会長、角田克己6代会長(株)トコブキ(株)細谷力4代会長の孫の嶋津義人(株)ホソヤファーム社長、磯ヶ谷正徳7代会長の娘の磯ヶ谷果歩(株)磯ヶ谷養鶏園社長、彦坂治美元理事の息子の彦坂誠神奈川中央養鶏農協組合長に鈴木会長から花束が贈られた。齋藤富士雄氏は「私は88歳になったが、このような席に出席でき、皆様にお礼を申し上げる」と謝辞を述べたほか、前専務理事の尾崎喜重氏と、元理事の保立秀夫(株)秀鶏園会長も思い出を語った。また、古今亭志ん輔師匠の落語独演会も行なった。小川洪太理事(株)小川フェニックスの首領で万歳三唱を行ない、創立70周年記念実行委員長を務めた齋藤大天副会長(株)愛鶏園会長があいさつして閉会となった。